

当院および他院で発症時刻不明の脳梗塞の治療を受けた患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」と希望される場合には、ご遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合、対応表が廃棄された場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2019年3月～2020年3月の間に、発症時刻不明の脳梗塞で当院および下記の施設に入院し血栓溶解療法を受けた方

【研究課題名】

発症時刻不明脳梗塞に対する静注血栓溶解療法の多施設共同観察研究

【研究代表者】

国立循環器病研究センター 脳血管内科 部長 古賀 政利

【研究の目的】

発症時刻不明脳梗塞に対する血栓溶解療法の治療効果を調査するため

【利用する診療情報】

性、年齢、身長、体重、発症時間タイプ、最終健常確認時刻、発見時刻、来院時刻、アルテプラゼ投与時刻、危険因子・合併症、発症前内服薬、治療前神経学的重症度、治療前バイタルサイン、血液・尿検査（肝機能、腎機能、糖代謝、脂質代謝、尿酸、炎症所見、凝固機能、心機能）、治療前降圧剤使用、アルテプラゼ投与中止の有無と理由、抗血栓療法、機械的血栓回収療法併用の有無、頭部MRI所見、治療開始24時間後神経学的重症度、機能転帰、治療開始24-36時間以内の症候性頭蓋内出血、脳梗塞病型、発症48時間以内の神経学的増悪、治療開始7日後神経学的重症度、機能転帰、退院時処方、発症90日以内・180日以内の死亡、死因、発症90日後・180日後の機能転帰、発症後脳卒中発症、発症後合併症

【外部機関との研究データの授受】

上記の診療記録情報が、研究代表機関である国立循環器病研究センターへ提供され、研究が進められます。情報は、個人を特定できない状態に加工して提供されます。

【研究期間】

2020年2月19日より2022年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

済生会熊本病院 脳神経内科 永沼 雅基（当院の研究担当医師）

電話 096-351-8000(代表)

【共同研究機関・研究責任者】

美原記念病院・神澤孝夫、山形市立病院済生館・近藤礼、帯広厚生病院・大瀧雅文、中村記念病院・上山憲司、広南病院・矢澤由加子、岐阜大学・岩間亨、日本医科大学・木村和美、佐賀大学・薬師寺祐介、秋田県立循環器・脳脊髄センター・師井淳太、岩手県立中央病院・土井尻遼介、トヨタ記念病院・伊藤泰広、京都第二赤十字病院・永金義成、国立病院機構九州医療センター・岡田靖、新潟市民病院・五十嵐修一、大西脳神経外科病院・久我純弘、長崎大学・辻野彰、東海大学・瀧澤俊也、杏林大学・塩川芳昭、神戸市立医療センター中央市民病院・坂井信幸、聖マリアンナ医科大学・長谷川泰弘、製鉄記念八幡病院・大崎正登、川崎医科大学総合医療センター・井上 剛、徳島大学・高木康志、兵庫医科大学・吉村紳一、虎の門病院・上坂義和、順天堂大学浦安病院・ト部貴夫、聖マリアンナ医大東横病院・植田敏浩、武蔵野赤十字病院・一条真彦、東京慈恵会医科大学・井口保之、昭和大学藤が丘病院・寺田友昭、北里大学・西山和利、名古屋第二赤十字病院・安井敬三、京都医療センター・大谷良、川崎医科大学・八木田佳樹、小倉記念病院・古田興之介、福岡赤十字病院・北山次郎、熊本赤十字病院・寺崎修司、山陰労災病院・楠見公義、済生会熊本病院・米原敏郎、藤田保健衛生大学・中原一郎、鹿児島医療センター・松岡秀樹